

2020年度後期 講義概要

| | |
|--------|---|
| 授業科目名 | 老年保健看護学各論 |
| 主担当教員名 | 荻田美穂子 |
| 配当学年 等 | 2年後期 |
| 学習目標 | 人間の生涯における老年期の人々を取り巻く環境や健康問題についての理解を深める。学習目標は以下の5点である。 1. 我が国及び諸外国の保健・医療・福祉政策や制度の変遷や課題を理解し、将来が展望できる。 2. 高齢者に対する倫理的問題を概観し、問題点や課題について自身の考えを述べることができる。 3. 高齢者の健康とヘルスプロモーションを理解することができる。 4. 加齢およびフレイル予防の考え方について理解できる。 5. 高齢者における急性期・リハビリテーション期・慢性期・終末期の考え方や特徴を理解することができる。 |
| 授業概要 | 1. 身近な高齢者との交流を通して、高齢者を取り巻く環境や考え方、健康状態などについて学習する。 2. 講義や視聴覚教材、グループディスカッションを通して、高齢者の諸問題について考える。 3. 最近の研究動向を交え、加齢およびフレイル予防の考え方を学ぶ。 |

授業内容

| 年月日(曜) | 時限 | 担当教員 | 項目 | 内容 | 課題 有・無 | 授業形式 (原則、対面。) |
|-------------------|--|-------|-----------------|--|-----------|------------------|
| 2020年10月8日(木曜日) | 1 | 荻田 | 高齢者の健康問題 | 経過別にみた老年看護 課題：12/24講義事前課題(12/21×切) | 有 | 対面 |
| 2020年10月29日(木曜日) | 1 | 荻田 | 高齢者を取り巻く社会制度 | 高齢社会における保健医療福祉の動向 | 無 | 対面 |
| 2020年11月5日(木曜日) | 1 | 荻田 | 高齢者の倫理的課題① | 高齢社会における権利擁護 課題：12/10講義事前課題(12/7×切) | 有 | 対面 |
| 2020年11月12日(木曜日) | 1 | 徳川 | 老いと死 尊厳ある見取り | エンド・オブ・ライフ エンド・オブ・デス | 無 | 対面 |
| 2020年12月4日(金曜日) | 4 | 荒井 | 高齢者のフレイル① | フレイルの定義と予防介入 | 無 | 対面 |
| 2020年12月4日(金曜日) | 5 | 荒井 | 高齢者のフレイル② | フレイルに関する研究動向 | 無 | 対面 |
| 2020年12月10日(木曜日) | 2 | 荻田 | 高齢者の倫理的課題② | 臨床の場で生じる倫理的問題 -身体拘束に関する事例検討- | 無 | 対面 |
| 2020年12月24日(木曜日) | 2 | 荻田・片寄 | 高齢者観の共有 | 高齢者へのインタビュー内容の共有 (個人orグループワーク・発表) | 無 | 対面 |
| 授業形式・ 視聴覚機器の利用 | 上記授業の順序などは、都合により、一部変更する場合がある。 講義・視聴覚教材の利用・高齢者との対話・グループ討議を通して理解を深める。 各講義後にWeb class上に確認問題をアップします。各自満点になるまで行うようにしてください。 | | | | | |
| 評価方法 | 総授業時間の3分の1を超えて欠席した場合は、本試験を受験することはできない。 本試験70%、授業の取り組み状況(確認問題・レポート・グループワーク・発表など)30%で評価を行う。 ただし、本試験は100点満点中60点以上あることが単位認定の必須要件とする。 | | | | | |
| 教科書・ 参考文献 | 授業でその日の資料を配布する。 教科書：老年看護学概論、南江堂 参考文献：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学、医学書院 参考文献：厚生指針「国民衛生の動向」、厚生統計協会 参考文献：健康長寿診療ハンドブック、編集/発行 老年医学会 | | | | | |
| 学生への メッセージ | 授業計画は予定です。授業形式や課題内容等は変更する可能性があります。随時講義およびWeb Class内で連絡します。疑問点や困ったことがあればいつでも講義中もしくはメールにて質問をするようにしてください。 我が国は世界でも類を見ない速さで超高齢社会に突入しています。新聞やニュースでは高齢者に関する話題が頻りに報道され、公共の中で高齢者に出会わない日はないと思います。日頃から高齢者の生活に関心を向け、我が国の高齢者が抱える問題について考えてみましょう。 | | | | | |